

平成29年度 環境活動および地域連携等の活動

国立大学法人岐阜大学 部局名: 地域科学部

※緑色の番号は環境活動を表す

教育	1	【授業】地域科学部「地域学実習」:岐阜市中心市街地の高齢者の買物環境を生活の実情や健康状態と照らし合わせられるように、調査・分析した。岐阜市、金華地区民生委員協議会の協力を得て調査した。調査報告書は、各協力者によるまちづくりの取り組みに活用して頂く。(高木 和美 教授)
	2	【授業】地域科学部「化学実験」、「化学演習」、「微分方程式」:一部で、自然環境中での生物数の変化の数理など、環境問題に関する内容を扱った。(和佐田 裕昭 教授)
	3	【授業】地域科学部「化学1」:一部で、環境と関連する化学物質の基礎について、量子論の観点から扱った。(和佐田 裕昭 教授)
	4	【授業】地域科学部「専門セミナー」:一部で、結晶、気象との関連等、環境問題に関する内容を扱った。(和佐田 裕昭 教授)
	5	【授業】地域科学部「卒論研究」:環境問題における公私協働をテーマにする学生がいるのでその指導を行った。(三谷 晋 准教授)
	6	【授業】全学共通教育「環境マネジメントと環境経営」:講義1回5月8日月曜日2限目(三谷 晋 准教授)
	7	【授業】地域科学部「地域研究入門」:一年時配当科目。「SATOYAMA学際研究」コーディネーターを務めた。講師は、向井貴彦准教授(6月23日(金))、山口未花子助教(6月30日(金))、林琢也准教授(7月7日(金))、その後のワークショップ(7月14日(金)、21日(金))。(三谷 晋 准教授)
	8	【授業】全学共通教育「環境マネジメントと環境経営」:前学期月曜日2時限目。環境マネジメントシステムの枠組みを学び、EMSの実践活動につなげていくことの一環として「環境経営と環境経済」の講義を行った。(三井 栄 教授)
	9	【授業】全学共通教育「環境マネジメントと環境経営」:後学期月曜日3時限目。環境マネジメントシステムの枠組みを学び、EMSの実践活動につなげていくことの一環として「環境経営と環境経済」の講義を行った。(三井 栄 教授)
	10	【授業】全学共通教育「地域産業と企業戦略入門:岐阜の企業を知る」:前期講義(三井 栄 教授)[COC、COC+事業]
	11	【授業】全学共通教育「フューチャーセンター実践Ⅰ」:前期講義(三井 栄 教授)[COC、COC+事業]
	12	【授業】全学共通教育「地域産業と企業戦略入門:岐阜の企業を知る」:後期講義(三井 栄 教授)[COC、COC+事業]
	13	【授業】全学共通教育「フューチャーセンター実践Ⅱ」:後期講義(三井 栄 教授)[COC、COC+事業]
	14	【授業】フューチャーセンター実践Ⅱ 報告会:12月9日に多治見市ながせ商店街で開催した第9回ぎふフューチャーセンターに参加した「フューチャーセンター実践Ⅱ」の受講学生が、事前学習、フューチャーセンター当日の内容及びその後の考察を踏まえ、空き店舗の活用方法や、商店街に多くの人が集まるにはどうしたらいいか、どのような場所が必要かを地域の方々に提案する報告会を開催し、その進行を務めた。参加者:多治見まちづくり株式会社、岐阜県、多治見市、商店街の方々など。ながせ商店街クラフトショップながせ3号館。1月11日(三井 栄 教授)[COC、COC+事業]
	15	【授業】全学共通教育「地域資源の活用と観光デザイン」:後期講義(三井 栄 教授)[COC、COC+事業]
	16	【授業】自治体協働型インターンシップのファシリテーター:7月26日(三井 栄 教授)[COC、COC+事業]
	17	【授業】COC+サマースクールへの参加:9月5日~7日(三井 栄 教授)[COC、COC+事業]

平成29年度 環境活動および地域連携等の活動

国立大学法人岐阜大学 部局名: 地域科学部

※緑色の番号は環境活動を表す

教育	18	【授業】地域科学部「専門セミナー」:都市における環境問題を取り上げ、それらの発生するメカニズムや問題点等について講義した。(十二村 佳樹 准教授)
	19	【授業】地域科学部「専門セミナー」、「農村振興論」:講義の中で、環境保全と観光開発に係る問題や住民の環境意識、エコツーリズム、グリーン・ツーリズム、環境保全型農業・有機農業等に関する内容を取り扱った。(林 琢也 准教授)
	20	【授業】地域科学部「専門セミナー」:「ぎふクリーン農業」を実践する生産者の圃場においてブドウの援農活動を行った。(JAぎふ長良支店の企画に協力)2017年6月10日(林 琢也 准教授)
	21	【授業】地域科学部「専門セミナー」:ゼミの学生が卒業論文のテーマとして、森林の保全・活用、森林空間のレクリエーション利用について取り上げ、郡上市石徹白地区において調査・研究を行った。(林 琢也 准教授)
	22	【授業】地域科学部「化学実験」、「化学演習」、「微分方程式」、全学共通教育「教養の化学(化学概論)」:廃液等の処理、自然環境中での生物数の変化の数理など環境問題に関しての教育内容を含んだ授業を行った。(橋本 智裕 准教授)
	23	【授業】全学共通教育「環境マネジメントと環境経営」:前学期。「生物多様性と環境」の講義を行った。(向井 貴彦 准教授)
	24	【授業】地域科学部「動物生態学」:前学期。環境問題を理解する上で必須となる生態系の構造、機能、生物間相互作用などについて講義した。(向井 貴彦 准教授)
	25	【授業】地域科学部「専門セミナー」:前学期。野生生物の生態、遺伝的多様性、絶滅危惧種の保全、外来種問題などについての講義と、学生自身による課題設定と学習を行った。(向井 貴彦 准教授)
	26	【授業】全学共通教育「環境マネジメントと環境経営」:後学期。「生物多様性と環境」の講義を行った。(向井 貴彦 准教授)
	27	【授業】地域科学部「生物学I」:後学期。環境問題を理解する基礎となる生物学について、生物の多様性、遺伝子、進化などの重要な項目を講義で詳しく説明した。(向井 貴彦 准教授)
	28	【授業】地域科学部「環境保全論II」:後学期。環境問題についての具体的な事例をもとに、その原因、解決のための取り組みなどを多角的に、また学外での見学などを含めて講義した。(向井 貴彦 准教授)
	29	【授業】地域科学部「専門セミナー」:後学期。野生生物の生態、遺伝的多様性、絶滅危惧種の保全、外来種問題などについての講義と、学生自身による課題設定と学習を行った。(向井 貴彦 准教授)
	30	【授業】地域科学部「卒業研究」:後学期。岐阜県内の河川に生息する淡水エビの分布や、無農薬水田の生物相についての卒業研究を指導した。(向井 貴彦 准教授)
	31	【授業】全学共通教育「日本国憲法(基本的人権と社会権)」:後期火曜1時限目。環境権の講義としてニュージーランドと日本の環境法比較ビデオを視聴し説明を行った。(近藤 真 教授)
	32	【学外授業】オープンカレッジ:岐阜市メディアコスモス。8月5日(三谷 晋 准教授)
33	【学外授業】出前講義:「絶滅危惧種vs.外来種—身近な自然を守るために」と題した環境問題に関する出前講義を行った。開催は本巣松陽高校(本巣市)にて6月22日。(向井 貴彦 准教授)	
34	【学外授業】出前講義:「地域の自然を活かしたまちづくりを考える」と題した環境問題に関する出前講義を行った。開催は知立東高校(愛知県知立市)にて8月22日。(向井 貴彦 准教授)	
35	【学外授業】出前講義:「絶滅危惧種vs.外来種—身近な自然を守るために」と題した環境問題に関する出前講義を行った。開催は津西高校(三重県津市)にて9月22日。(向井 貴彦 准教授)	

平成29年度 環境活動および地域連携等の活動

国立大学法人岐阜大学 部局名: 地域科学部

※緑色の番号は環境活動を表す

研究	1	【研究】原発に関する労働環境と地域環境の研究: 原子力発電所における被曝不可避の労働環境で働く労働者の状態、労働者とその家族の健康・生活問題との関連についてのこれまでの研究をいったん整理し、論文「若狭地域住民は原発関連事業所とどのようにつながっているか(労働環境と地域環境)」(2017年9月)と著書『原発被曝労働者の労働・生活実態分析ー原発林立地域・若狭における聴き取り調査からー』(2017年10月)で公表した。その内容を高木が担当する専門セミナーで紹介し意見交換した。講演テーマは、「若狭地域住民は原発関連事業所とどのようにつながっているか(労働環境と地域環境)」。(高木 和美 教授)
	2	【研究】平成29年度COC「地域志向学プロジェクト」プロジェクトA:「乗鞍岳を活かした観光振興策: 小型自動販売機を用いた社会実験」研究代表者。地域振興と自然環境保全の観点から乗鞍岳を活かした観光振興策を検討するため、近年増加しつつある自転車で山頂を目指して登っていく「乗鞍スカイラインサイクルヒルクライム」に注目し、乗鞍岳周辺の観光振興策として小型自動販売機を用いた社会実験: クーポン付きガチャガチャ事業を行った。カプセル内に乗鞍登頂の記念品缶バッジ・飲食等のクーポン・マナー啓発チラシを入れ、観光振興に併せて、環境協力費徴収の可能性を模索した。(三井 栄 教授)[COC、COC+事業]
	3	【研究】環境適応都市に関する研究: 環境問題に適応した都市のあり方に関する研究に取り組んだ。(十二村 佳樹 准教授)
	4	【研究】「ファーマーズマーケットの役割を考えるーJAあぐりパーク食彩村・パルCODE朝市を事例にー」: 県内の自治体職員と行っている「地方自治政策研究会」(岐阜市役所)において研究成果を発表した。開催日は10月2日。(林 琢也 准教授)
	5	【研究】「経済地理学会 中部支部 12月例会」: 環境保全や食の安全・安心に配慮した農産物を販売するファーマーズマーケットや観光農園について、「名古屋大都市圏の中核都市にみる食と農のダイナミズムー岐阜市におけるファーマーズマーケット・観光農園の現状分析ー」と題するテーマで研究発表を行った。開催は中京大学名古屋キャンパスにて12月9日。(林 琢也 准教授)
	6	【研究】生物保全・外来種: 魚類・甲殻類等の水生生物保全と外来種問題についての研究を行った。(向井 貴彦 准教授)
社会連携	1	【研究会等】岐阜地方政策研究会: 5月23日、7月27日、10月2日、11月13日、12月13日、2月8日。岐阜市役所。近藤真教授、富樫幸一教授、山本公德准教授、林琢也准教授とともに参加した。(三谷 晋 准教授)
	2	【研究会等】岐阜愛知政策法務研究会: サテライトキャンパス。7月27日14時～、2月10日(三谷 晋 准教授)
	3	【研究会等】中部三県景気予測プロジェクト研究会: 全国と地域経済の景気動向には乖離が生じており、景気回復や落込みの度合いにも地域差が見られ、産業構成比、企業規模、近隣都市との依存関係、人口動向の変化は、景気循環のタイミングや景況感のずれを引き起こす原因となっている。そこで、愛知県、岐阜県、三重県の景気分析担当部局間と連携しながら景気分析の手法の共有化とスキルアップを図った。岐阜大学サテライトキャンパス。3月1日(三井 栄 教授)[産官学連携活動]
	4	【研究会等】平成29年度岐阜大学技術交流研究会: 「乗鞍社会実験研究会」研究代表者。今年度は、自転車による来訪者を対象に観光振興策として小型自動販売機を用いた社会実験: クーポン付きガチャガチャ事業を行った。(三井 栄 教授)[産官学連携活動]
	5	【審議会等】岐阜県行政不服審査会: 10月11日、11月8日(三谷 晋 准教授)
	6	【審議会等】岐阜市行政不服審査会: 12月18日、1月26日(三谷 晋 准教授)
	7	【審議会等】関市公文書公開審査会: 10月31日(三谷 晋 准教授)
	8	【審議会等】裁判所委員: (三谷 晋 准教授)
	9	【審議会等】岐阜市自然環境保全推進委員会(岐阜市): 委員として参加。(向井 貴彦 准教授)

平成29年度 環境活動および地域連携等の活動

国立大学法人岐阜大学 部局名: 地域科学部

※緑色の番号は環境活動を表す

社会
連
携

10	【審議会等】加茂地区生物多様性基礎調査(美濃加茂市):委員として参加。(向井 貴彦 准教授)
11	【審議会等】岐阜県レッドデータブック改訂調査検討委員会魚類専門部会(岐阜県):委員として参加。(向井 貴彦 准教授)
12	【審議会等】愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会(愛知県):委員として参加。(向井 貴彦 准教授)
13	【講演】日本科学者会議福井支部2月例会:2月10日(高木 和美 教授)
14	【講演】「地方自治法と議会」:関市NPOブーマラン等が主催する勉強会にて講演を行った。関市の然の膳関店。1月23日(三谷 晋 准教授)
15	【講演】第7回乗鞍フォーラム「ともに考える乗鞍の明日」:パネルディスカッション「魅力を高める、子どもに伝える」でコーディネーターを務めた。H29年8月11日(乗鞍岳・畳平)参加者約120名。岐阜新聞・中日新聞に関連記事掲載。(三井 栄 教授)
16	【講演】飛騨山脈ジオパーク構想フォーラム「飛騨山脈ジオパーク構想と持続可能な地域づくり」:パネルディスカッション「ジオパークの魅力を語る」でコーディネーターを務めた。H29年12月3日(奥飛騨総合文化センター)参加者約120名。(三井 栄 教授)
17	【講演】「相模原障がい者施設殺傷事件と優生思想」:兵庫県加古川市のNPO法人「知的障がいを持つ人の余暇活動をサポートする会」が主宰する講演会で、自閉症療育講座の一環として、「相模原障がい者施設殺傷事件と優生思想」と題する講演を行った。加古川市陵南公民館。5月14日。(竹内 章郎 教授)
18	【講演】「相模原事件から学ぶ:「弱者」の哲学:いのちの平等論から能力の共同性論まで」:滋賀県長浜市の健康福祉部しょうがい福祉課が主催する学習会「しょうがいのある方が安心して住み慣れた地域で暮らすために」の一環として、「相模原事件から学ぶ:「弱者」の哲学:いのちの平等論から能力の共同性論まで」と題する講演を行った。長浜市市民交流センター。7月28日。(竹内 章郎 教授)
19	【講演】津保川の魚と環境について:関市西部ふれあいのまちづくり推進委員会主催の津保川自然観察会において、津保川の魚と環境についての講演を行った。関市小屋名。5月28日。(向井 貴彦 准教授)
20	【講演】「絶滅危惧種vs.外来種—身近な自然を守るために」:十六銀行主催の高齢者向けセミナーで「絶滅危惧種vs.外来種—身近な自然を守るために」と題した環境問題に関する講演を行った。開催は岐阜市十六ビルにて7月26日。(向井 貴彦 准教授)
21	【講演】オオサンショウウオの生態と和良川の環境について:和良おこし協議会主催のオオサンショウウオ観察会「はざこ探検隊」に参加し、オオサンショウウオの生態と和良川の環境について講演した。郡上市和良町。7月30日、8月26日(向井 貴彦 准教授)
22	【講演】「岐阜県の魚類:岐阜県の全魚種と会うために」:長良川市民学習会主催の講演会において、「岐阜県の魚類:岐阜県の全魚種と会うために」と題して岐阜県内の水環境について講演した。岐阜市メディアコスモス。8月19日。(向井 貴彦 准教授)
23	【講演】「魚を通して自然の姿を考える」:NPO法人東海自然学園「東海シニア大学」の受講生を対象に「魚を通して自然の姿を考える」というテーマで水環境についての講演を行った。岐阜大学地域科学部向井研究室。8月25日(向井 貴彦 准教授)
24	【講演】「岐阜県の魚の話」:みのかも文化の森主催のサイエンスカフェにおいて、「岐阜県の魚の話」と題して水辺の環境と淡水魚についての講演を行った。みのかも文化の森。8月26日(向井 貴彦 准教授)
25	【講演】「長良川の生態系と生物多様性について」:岐阜県環境企画課主催の県外者向けの講座において、「長良川の生態系と生物多様性について」をテーマに河川環境と淡水魚についての講演を行った。岐阜市うかいミュージアム。8月30日(向井 貴彦 准教授)
26	【講演】各務用水の魚と環境について:各務用水土地改良区主催の地元親子向けの生物観察会において、各務用水の魚と環境についての講演を行った。開催は関市小屋名にて10月1日。(向井 貴彦 准教授)

平成29年度 環境活動および地域連携等の活動

国立大学法人岐阜大学 部局名: 地域科学部

※緑色の番号は環境活動を表す

社会連携	27	【講演】「アユのほかにもいるよ！ 岐阜県の魅力的な魚たちと残された謎」:世界淡水魚園水族館と岐阜大学共催の講演会において、「アユのほかにもいるよ！ 岐阜県の魅力的な魚たちと残された謎」と題して岐阜県内の魚と水環境について講演した。各務原市世界淡水魚園水族館。10月29日(向井 貴彦 准教授)
	28	【講演】「ウシモツゴの現状について」:愛知県主催のウシモツゴ保全連絡会議において、「ウシモツゴの現状について」と題して愛知県の希少種条例対象種であるウシモツゴの保全に関する現状について講演した。愛知県三の丸庁舎。10月31日(向井 貴彦 准教授)
	29	【メディア出演】新聞記事「絶滅危惧種の「ウシモツゴ」 県内ゴルフ場で繁殖か」:岐阜新聞12月30日掲載。(向井 貴彦 准教授)
	30	【メディア出演】新聞記事「中池の水ぜんぶ抜く」:中日新聞中濃版12月28日掲載。(向井 貴彦 准教授)
	31	【メディア出演】新聞記事「池の水抜き生物調査」:岐阜新聞県内版1月9日掲載。(向井 貴彦 准教授)
	32	【メディア出演】新聞記事「琵琶湖産オイカワ 木曾三川に広がる」:岐阜新聞1月25日掲載。(向井 貴彦 准教授)
	33	【メディア出演】NHK「ブラタモリ」:12月2日放送の岐阜編に出演。岐阜城と信長居館跡から引き継いで、川原町では町家や伝統の美濃和紙を、中心部では円徳寺から織田塚、楽市場跡と想定される場所までを案内して好評を得た。(富樫 幸一 教授)
その他 (運営面等)	1	【教職員】教職員に対して、環境や省エネに関する「監視記録(チェックシート)」の報告を四半期毎に実施して、学部内での自己啓発を進め、より効果的な環境保全と省エネに取り組んだ。
	2	【教職員】休憩時間における消灯、講義室の消灯・空調確認、裏紙活用など資源の再利用を促進し、省エネルギーの取り組みを行った。
	3	【教職員】不要物品の再利用など廃棄物の削減を図った。